

議題 鶴嶺八幡宮横参道の史跡追加指定について

1 市指定史跡・天然記念物『鶴嶺八幡宮参道及び松並木』について

現在、市の史跡・天然記念物として指定されている『鶴嶺八幡宮参道及び松並木』は参道隣接地の開発行為に伴って消滅の危機が差し迫っていたことから、昭和44年8月15日に市指定史跡・天然記念物に指定されたものである。参道ならびに古参道は史跡として、松並木は一群のものとして天然記念物として指定されている。なお、太鼓橋以北の社域については、昭和44年の段階では開発行為に伴う消滅の可能性が低いとされ、未指定となっている。

名 称：鶴嶺八幡宮参道及び松並木

種 類：市指定史跡・天然記念物

指定日：昭和44年8月15日

範 囲：鶴嶺八幡宮の太鼓橋より南から国道一号線大鳥居まで

2 「横参道」の追加指定について

市民要望を背景として横参道範囲内で雨污水工事が計画されている。工事に伴い、地表下の古参道を含む遺構の消滅が考えられることから、既指定の縦参道と同様に市指定史跡・天然記念物として指定し、保護を図る必要がある。平成30年度に実施された横参道西側部分の試掘調査結果及び令和6年度に実施した東側部分の試掘調査結果からは、一部で既設埋設管による消滅箇所はあるものの、地表下0.3～0.5m以下で古参道の残存が確認されている。

このため、横参道を既存の『鶴嶺八幡宮参道及び松並木』の指定範囲に含めることで保護を図り、遺跡への影響が少ない工事計画を立てるため、建設総務課をはじめとする関係各課と協議を行っている。なお、『鶴嶺八幡宮参道及び松並木』の指定範囲を拡大するにあたり、横参道と横参道の松並木のみでなく放生池や太鼓橋を含めた範囲を指定することで縦・横参道全体の社域を保護する方向で検討している。

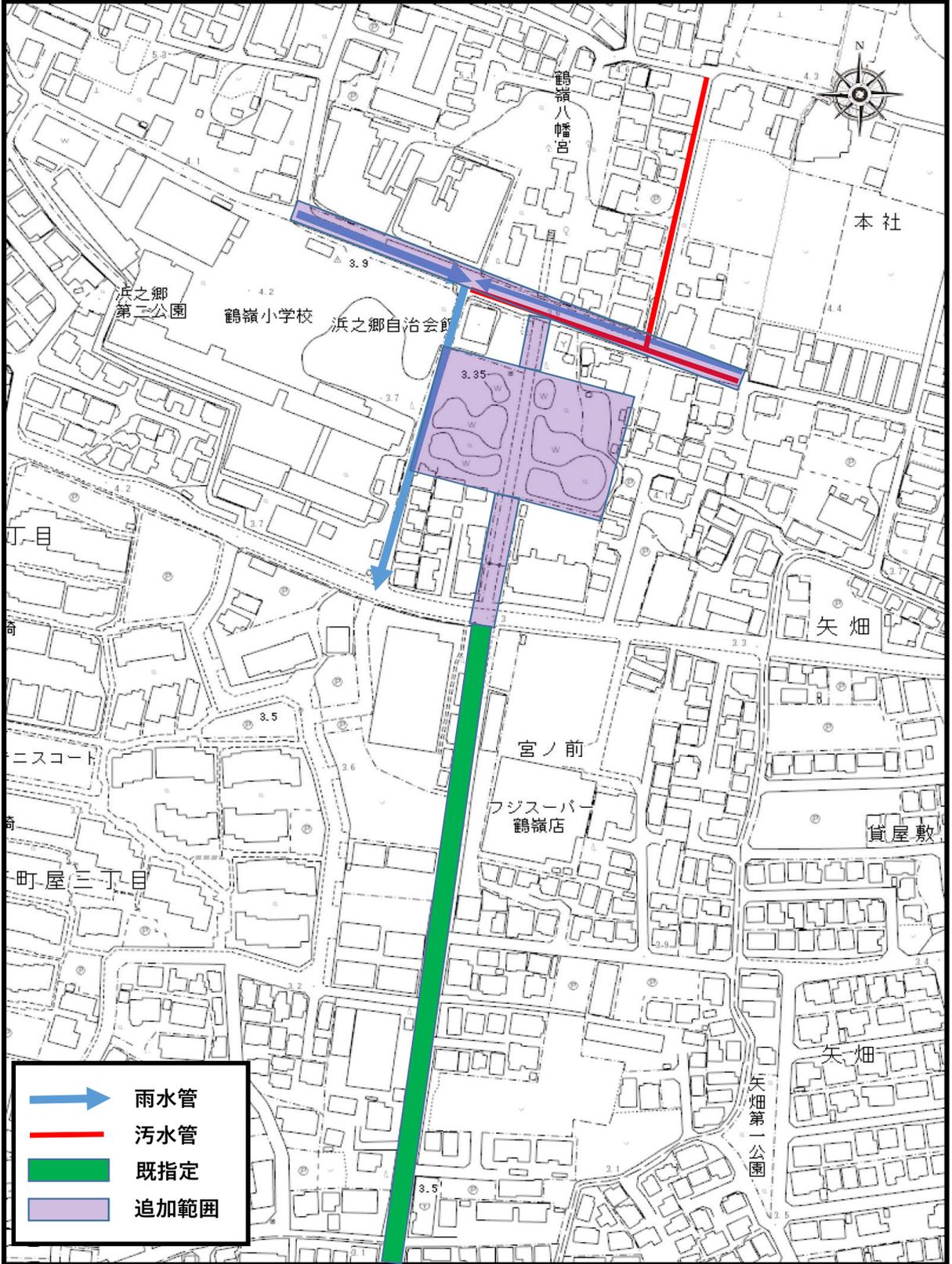
【 案 】

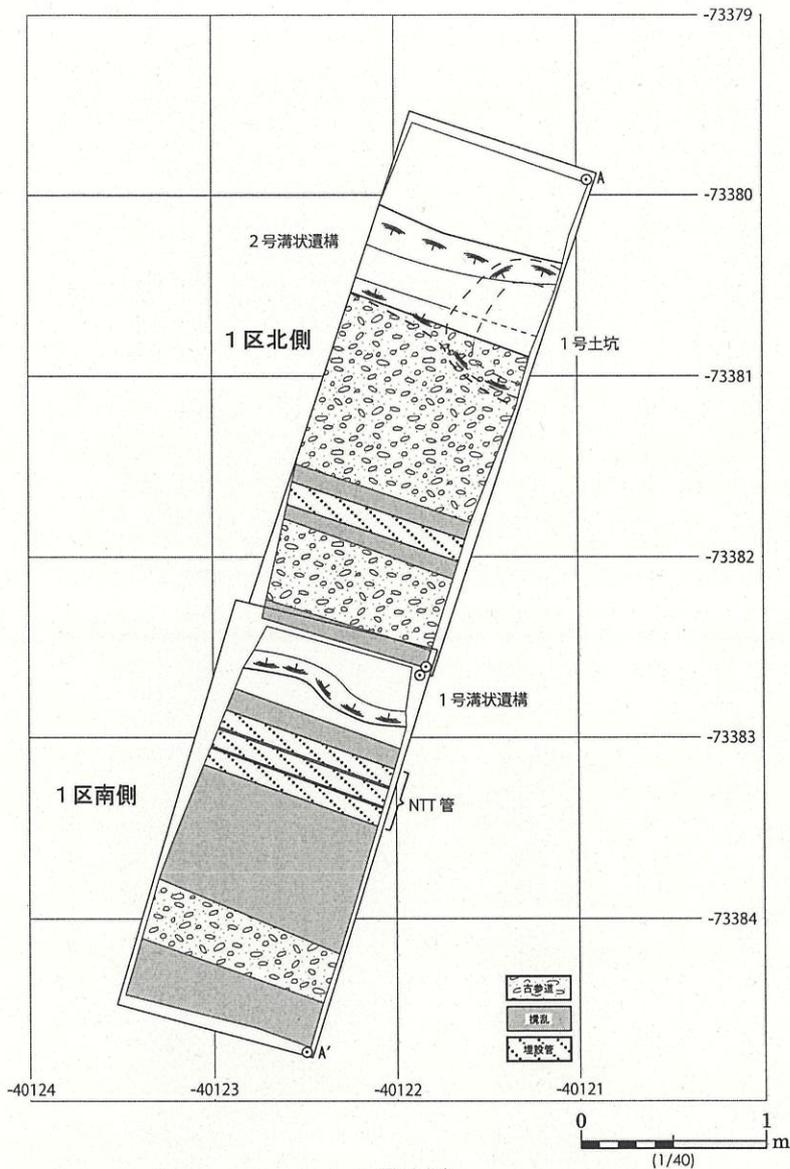
名 称：鶴嶺八幡宮参道及び松並木

種 類：市指定史跡・天然記念物

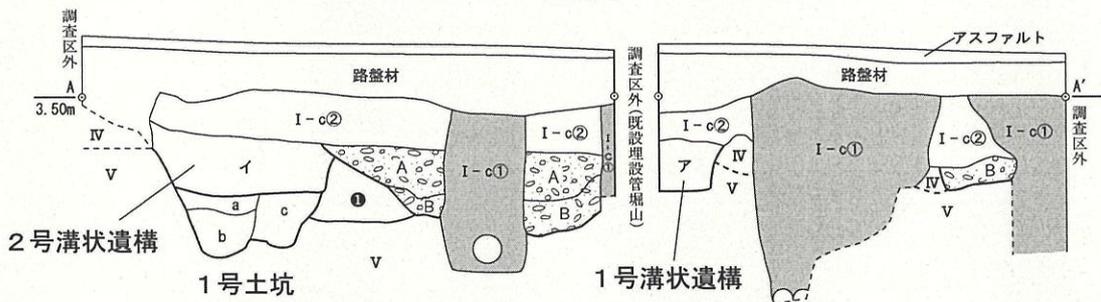
方 法：追加指定

範 囲：鶴嶺八幡宮の横参道から国道一号線大鳥居まで

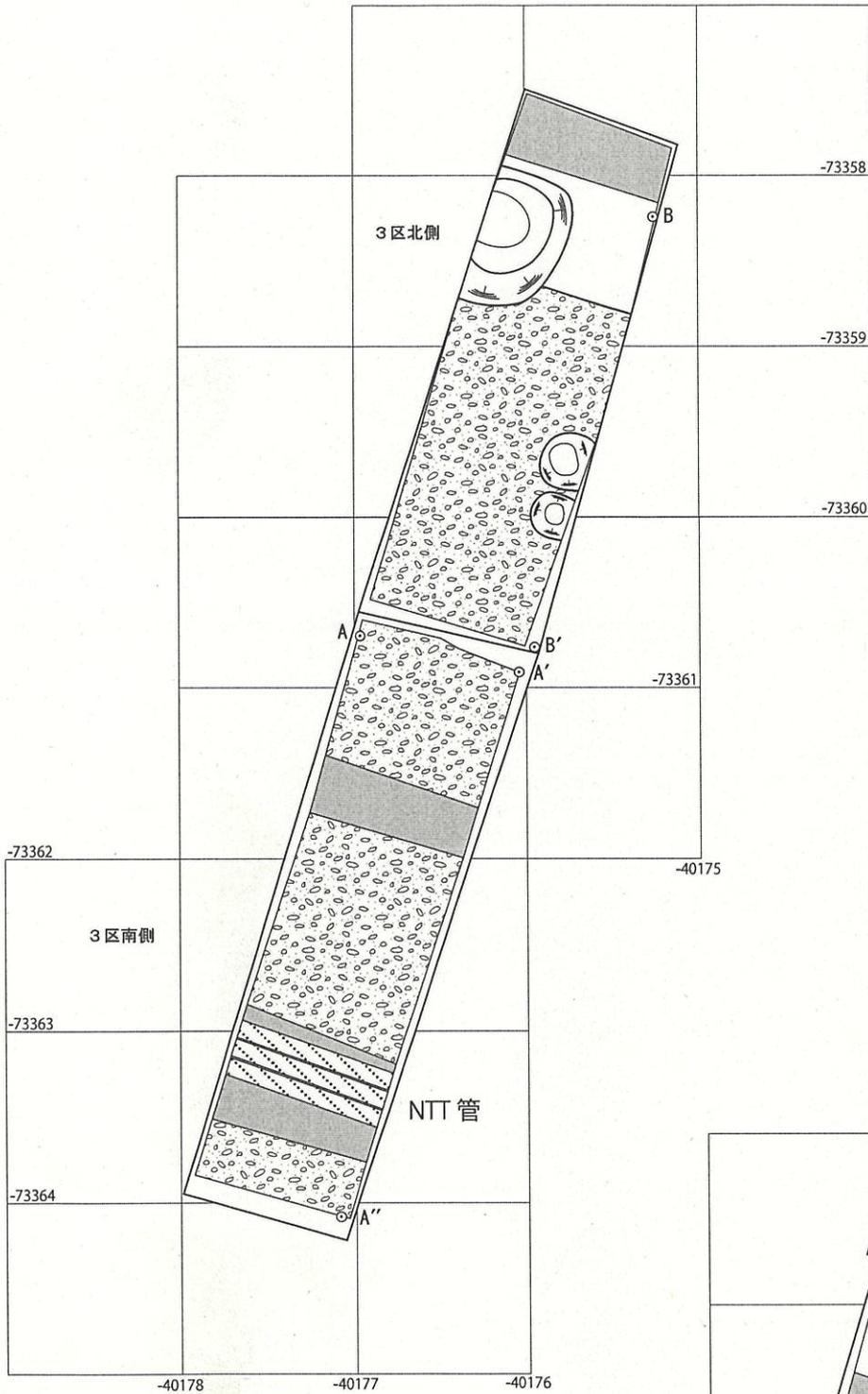




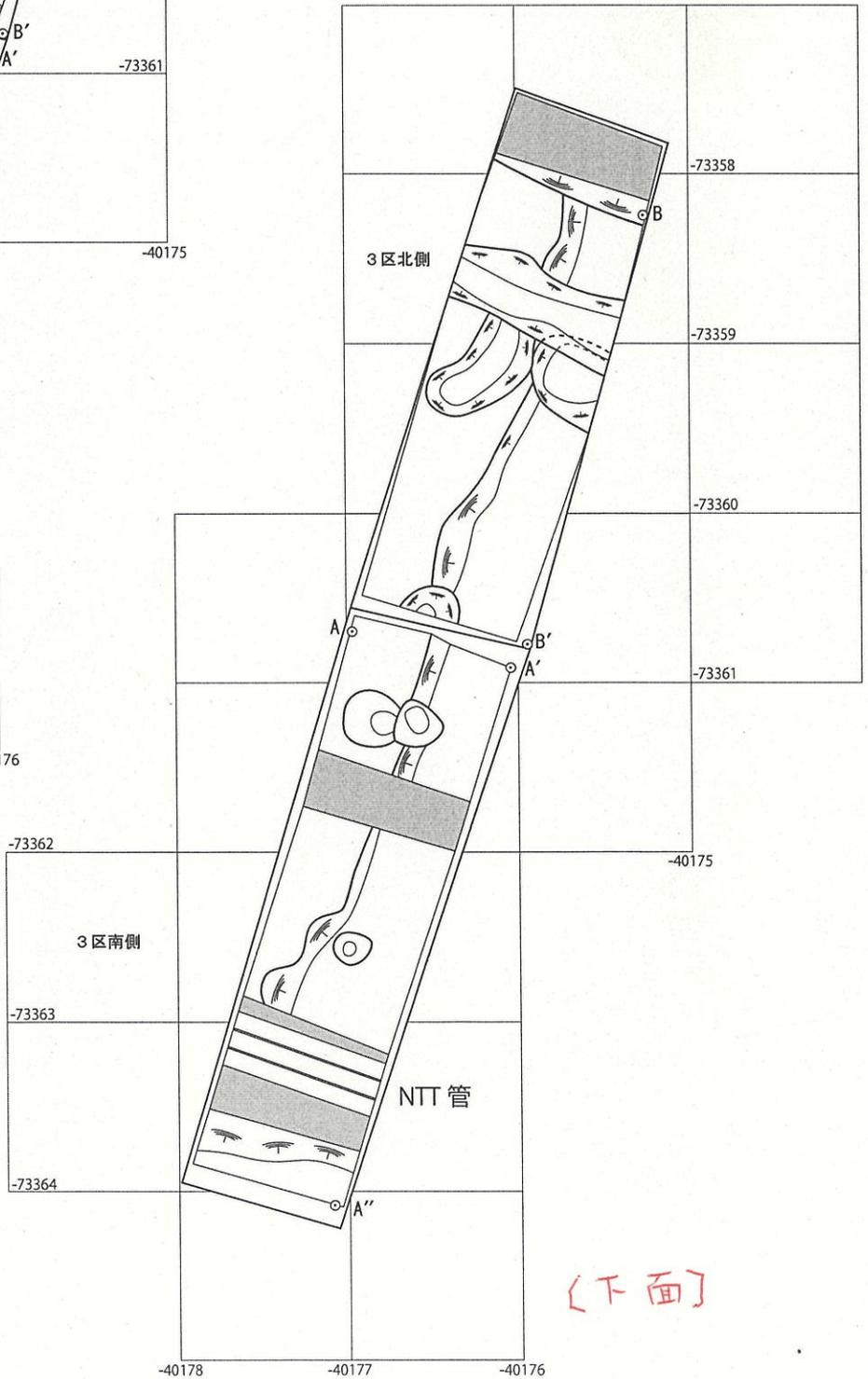
1区東壁



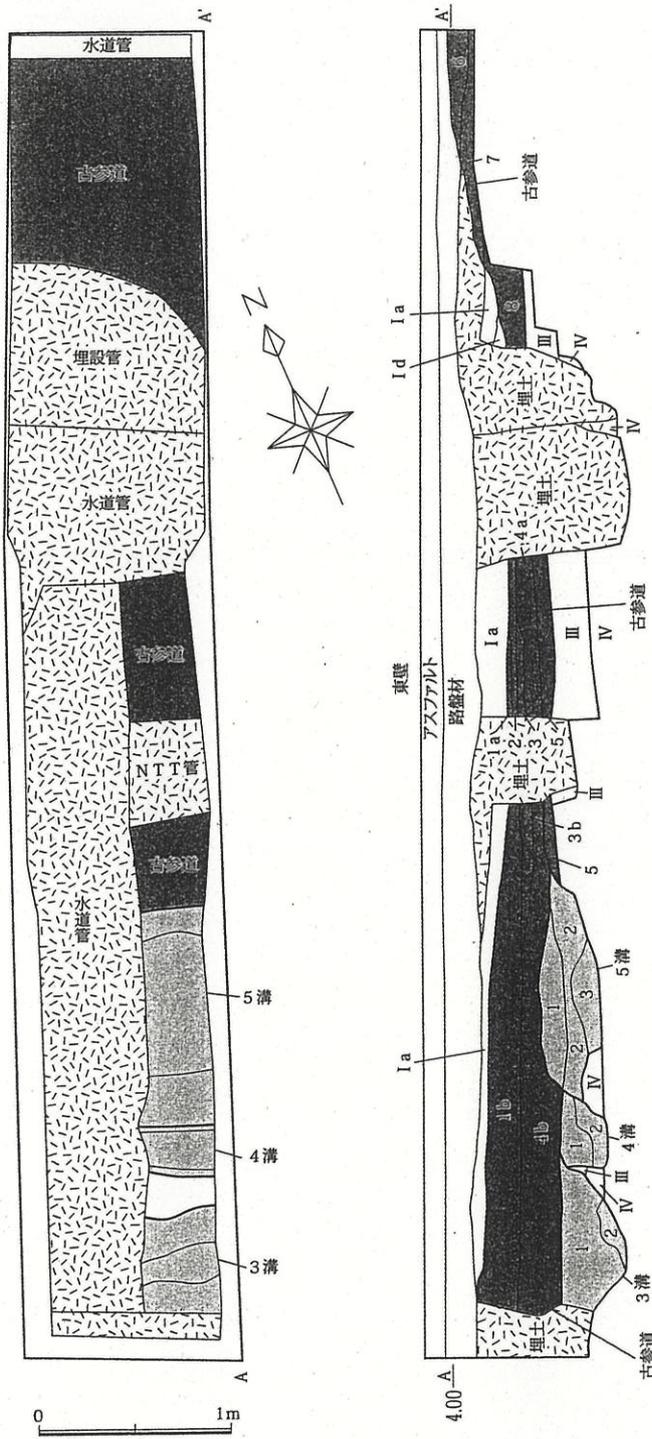
- I-c①層 : 暗褐色土。近現代の埋設管掘山。しまりなし。
  - I-c②層 : 暗褐色土。昭和期の陶器磁器ガラスビン混じる。しまりなし。粘性強い。宝永パミス・スコリアを含む。
  - IV層 : にぶい黄褐色砂質土。しまり強く、粘性弱い。斑に酸化する。地山漸移層。
  - V層 : 黄褐色砂質土。しまり強く、粘性弱い。地山層。
  - ①層 : 暗褐色土。しまり強い。粘性ややあり。橙色スコリアを少量含む。古代～中世の遺構覆土残欠。
- 【古参道】 ……近世初頭以降の参道
- A層 : 暗褐色土。宝永パミス・スコリアを含む。やや硬化し、斑に赤褐色を呈するもの。堆積粗い。
  - B層 : 暗褐色土。しまり強い。粘性なし。宝永パミス・スコリアを全体に多く含む。上部は酸化がみられる。道の名残か。
- 【1号溝状遺構】 ……近世以前の遺構
- ア層 : 暗褐色土。しまりあり。粘性ややあり。φ10～20cmの石を含む。堆積やや密。
  - イ層 : 暗褐色土。しまりあり。粘性やや強い。小礫を含む。堆積やや密。
- 【1号土坑】 ……近世以前の遺構
- a層 : 暗褐色土。しまりあり。粘性やや強い。橙色スコリア少量含む。小礫含む。
  - b層 : 暗褐色土。しまり増す。粘性強い。橙色スコリア少量含む。V層土を40%含む。斑に酸化する。堆積やや密。
  - c層 : 暗褐色土。b層より酸化著しい。堆積密。



〔上面〕



〔下面〕



Ia層：にぶい黄褐色土 しまりややあり。粘性あり。宝永パミス・スコリアを含む。  
 Ib層：にぶい黄褐色土 しまりあり。粘性あり。  
 Ic層：黒色スコリア層 しまりあり。粘性なし。宝永スコリア主体層。  
 Id層：にぶい黄褐色土 しまりややあり。粘性あり。Ia層に類似するが宝永パミス少ない。  
 III層：褐色土 しまりあり。粘性あり。橙色スコリアを含む。  
 IV層：明黄褐色土 しまりあり。粘性あり。土粒密。橙色スコリアを少量含む。

【古参道】  
 1a層：明黄褐色土 しまりあり。粘性あり。硬化面。  
 1b層：明黄褐色土 1a層に類似する。宝永パミス・スコリア少ない。  
 2層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。上面が硬い。  
 3a層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。宝永パミスを少量含む。  
 3b層：暗褐色土 3a層に類似する。しまりあるが2層より弱い。  
 4a層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。やや灰色味をおびる。  
 4b層：暗褐色土 4a層に類似するが、しまり弱い。  
 5層：にぶい黄褐色土 しまり弱くなる。  
 6層：にぶい黄褐色土 しまりあり。粘性なし。ザラザラする。硬くしまる。宝永スコリアではないφ1mm以下の砂粒が多量に含まれる。  
 7層：にぶい黄褐色土 灰色味あり。  
 8層：褐色土 明黄褐色土を含む。宝永パミスを含む。

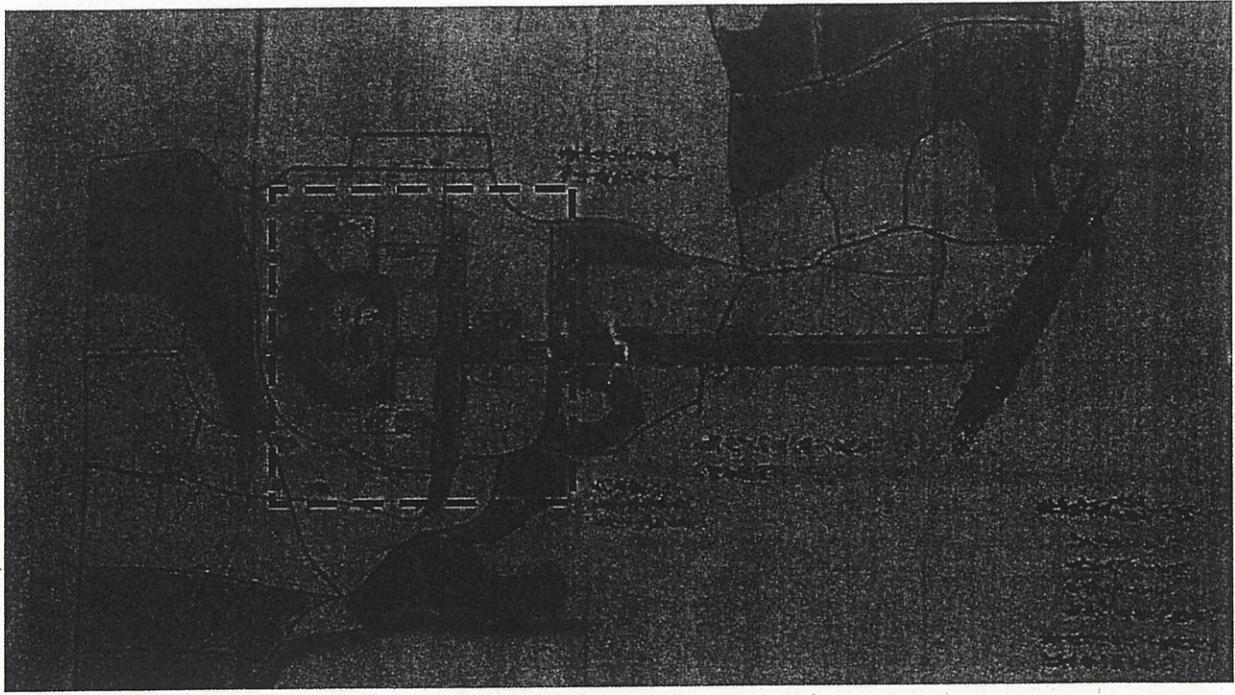
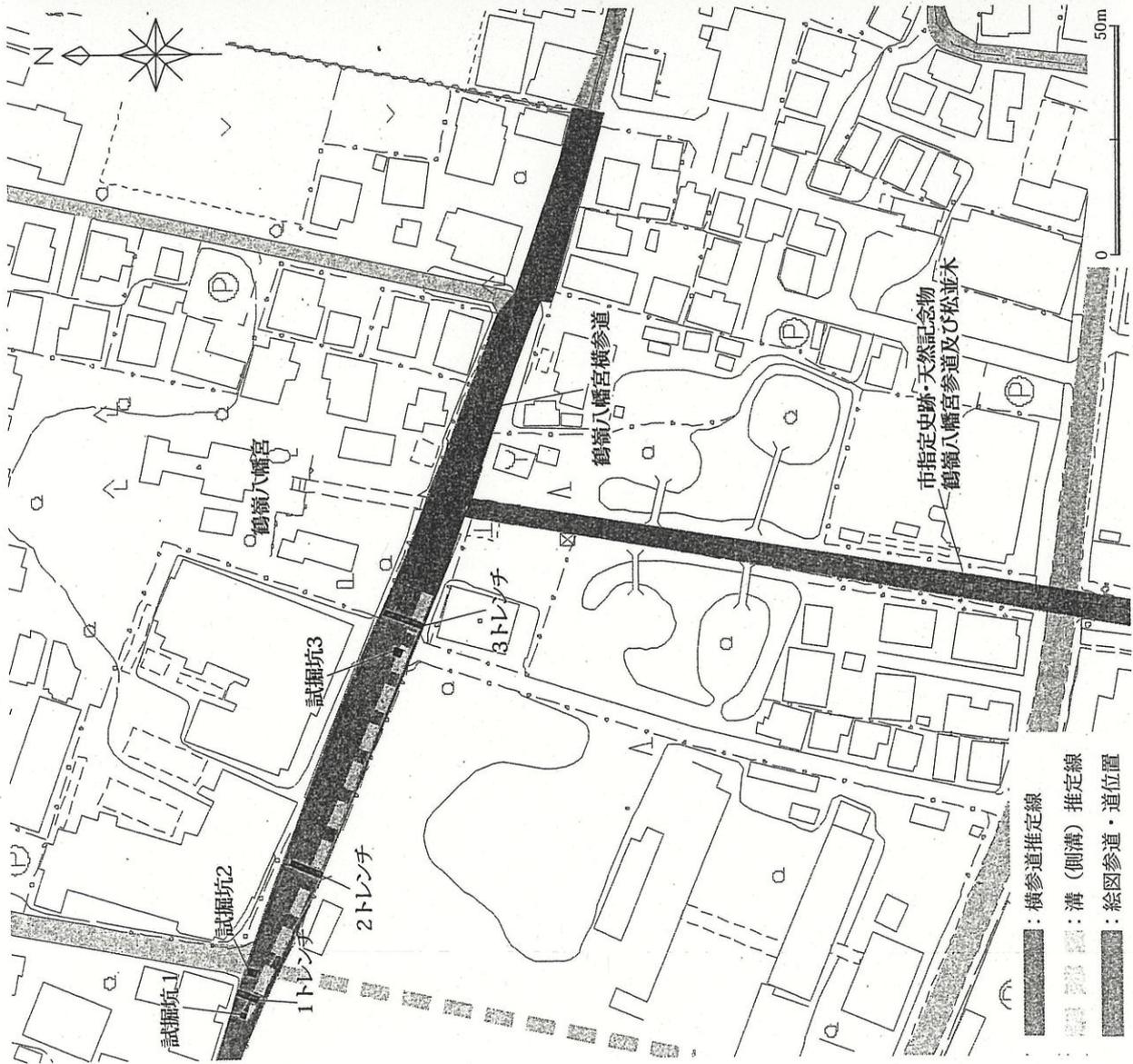
【3号溝】  
 1層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。土粒密。宝永パミスを含む。  
 2層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。1層に比べ宝永パミスなし。

【4号溝】  
 1層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。宝永パミス少量含む。  
 2層：暗褐色土 しまりあり。粘性あり。1層に比べ宝永パミスなし。

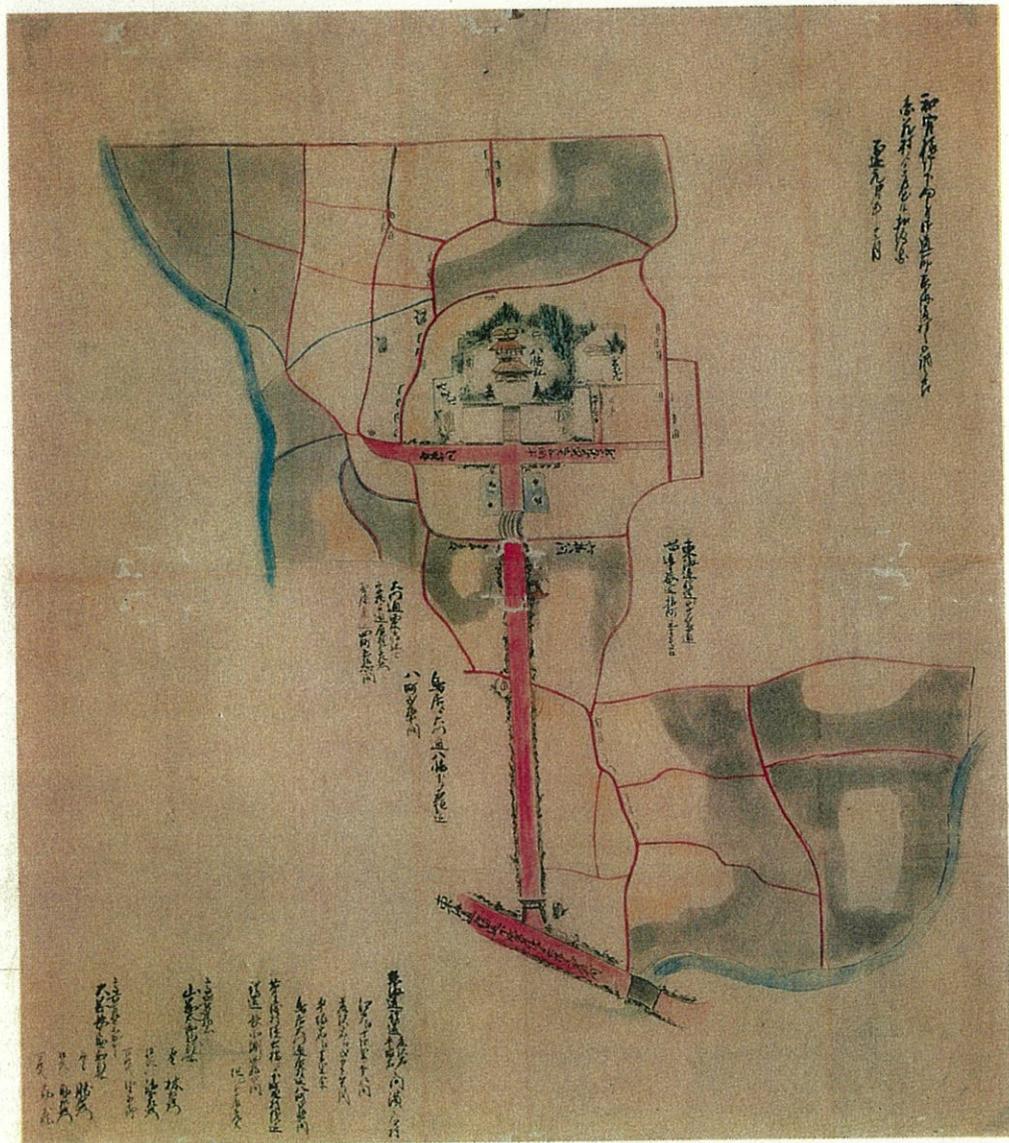
【5号溝】  
 1層：にぶい黄褐色土 しまりあり。粘性あり。宝永パミス含む。  
 2層：にぶい黄褐色土 しまりあり。粘性あり。やや明るい。  
 3層：にぶい黄褐色土 しまりあり。粘性あり。宝永パミス含む。

図例：近現代の攪乱

第3図 2トレンチ遺構配置図・土層断面図 (S=1:40)



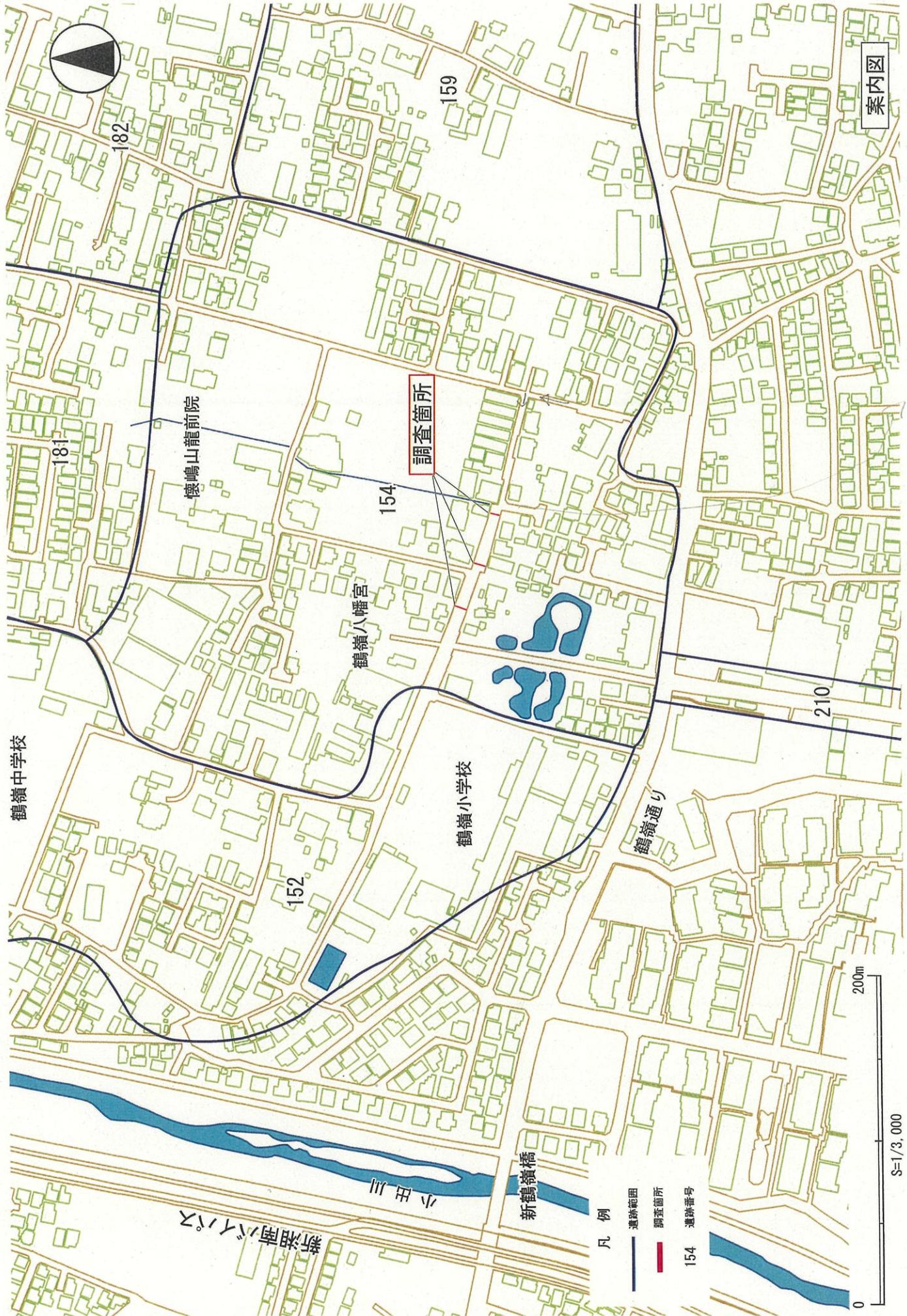
第4図 (左) 遺構分布図 (S=1:1500)・(右) 鶴嶺八幡宮古絵図 (万延元 (1860)年) (山岡知博氏所蔵) (黒破線筆者加筆)



万延元年12月 鶴嶺八幡宮絵図

幕末期に皇女和宮が、將軍家茂へ降嫁するにあたって、東海道沿道の各村から村の様子を書上げさせた。この絵図は、その際、提出されたものであり、特に鶴嶺八幡宮およびその参道が鮮明に描かれている。当時の領主山岡家に所蔵されていたが、今回はじめて公開されたものである。(116頁参照)

東京都 山岡知博氏蔵



案内図

鶴嶺中学校

新沼屋バイパス

小田川

新鶴嶺橋

凡例

- 運跡範囲
- 調査箇所
- 154 運跡番号

200m

S=1/3,000

道路

Y=-40,200    Y=-40,190    Y=-40,180    Y=-40,170    Y=-40,160    Y=-40,150    Y=-40,140    Y=-40,130    Y=-40,120    Y=-40,110

鶴嶺八幡宮

鐘楼

ペルビュー茅ヶ崎  
式番館

懐嶋山  
龍前院

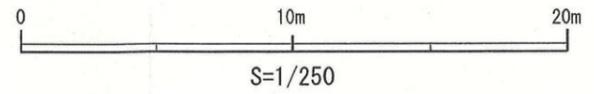
書道教室  
学研



浜之郷字本社 4 2 6 - 1

凡 例

- 令和6年度調査区
- 本復旧工事範囲



X=-73,350

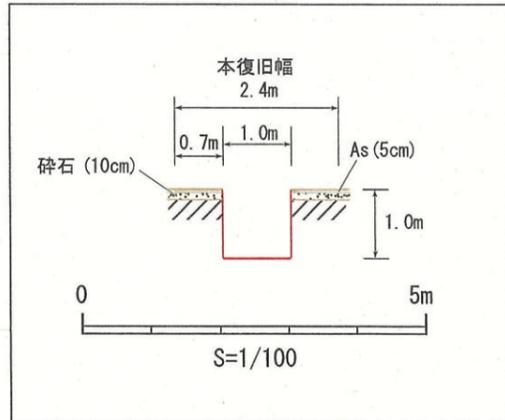
X=-73,360

X=-73,370

X=-73,380

X=-73,390

X=-73,400



3区

水路

1区

調査区平面図・断面図